

大学番号：国039

注3

[令和2年度設置]

事前伺い

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

福井大学大学院 工学研究科 産業創成工学専攻

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人福井大学
令和2年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	総合戦略部門経営戦略課
職名・氏名	キカクタントウ シュサ マスナガ タカコ 企画担当 主査・増永 貴子
電話番号	0776-27-8055
（夜間）	0776-27-8055
F A X	0776-27-8518
e-mail	s-keiei@ad.u-fukui.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
 () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
 例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
 (旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
 例)
 ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
 ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
 ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
 ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
 ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
 ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学研究科

＜産業創成工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 附帯事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 福井大学

(2) 大学名

福井大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒910-8507

福井県福井市文京3丁目9番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ウエダ タカノリ) 上田 孝典 (平成31年4月)		
研究科長	(フクイ カズトシ) 福井 一俊 (平成30年4月)		
専攻長	(コニシ ヨシユキ) 小西 慶幸 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 産業創成工学専攻 修士(工学)	工学関係	2年	85人	—人	170人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	85人 (-) [若干名]	- 人 () []	人 () []	人 () []	1.05倍	- 倍	
志願者数	92 (-) [6]	- (-) [-]	() () []	() () []			
受験者数	92 (-) [6]	- (-) [-]	() () []	() () []			
合格者数	91 (-) [6]	- (-) [-]	() () []	() () []			
B 入学者数	90 (-) [6]	- (-) [-]	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.05						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	90 [6] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	
3年次	/		/		
4年次	/		/		
計	90 [6] (-)	-	[] ()	[] ()	

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	90 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{90} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 産業創成工学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目A群	科学英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼3	
	科学英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼2	
	科学英語表現Ⅰ	2前		1								兼1	
	科学英語表現Ⅱ	2後		1								兼3	
	科学英語特別講義	2前		2								兼2	
	共通科目B群	大学院海外短期インターンシップⅠ	1～2前後		1								
		大学院海外短期インターンシップⅡ	1～2前後		2								
		長期インターンシップ	1～2前後		4								
		PBLⅠ	1～2前後		2			1					
		PBLⅡ	1～2前後		4			1					
		生命複合科学特論Ⅰ	1前		2			1					兼14
		生命複合科学特論Ⅱ	1後		2			1					兼14
		工業日本語特論Ⅰ	1前		2								兼1
		工業日本語特論Ⅱ	1後		2								兼1
小計(14科目)			-	2	25	0	3	1	0	0	0	0	兼33
専攻共通科目	産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ	1前	4			17	20						
	産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ	1後	4			17	20						
	産業創成工学特別講義Ⅰ	1前		2		1							
	産業創成工学特別講義Ⅱ	1後		2		1							
	産業創成工学ゼミナールⅠ	1通		2		17	20						
	産業創成工学ゼミナールⅡ	2通		2		17	20						
小計(6科目)		-	8	8	0	17	20	0	0	0	0		
MOT科目群	MOT概論	1後		2		2						兼1	
	産業創成工学PBL	1前		2		1							
	経営学基礎	1前		2								兼1	
	技術経営のすすめ	1前		2								兼1	
	技術系のマネジメント基礎	1後		2								兼1	
	起業化経営論	1前		2		1							
	システム創造思考論	1前		2		1							
	異分野コミュニケーション	1後		2		1							
	材料・加工工学科目群	材料・加工工学概論	1前		2		4	7			1		
		繊維・高分子材料科学	1後		2		1						
繊維・高分子架橋体工学		1後		2						1			
繊維・高分子加工工学		1前		2		1							
繊維・高分子材料レオロジー特論		1後		2			1						
カラーレーション工学		1前		2			1						
無機材料化学特論		1後		2			1						
繊維産業工学		1前		2								兼3	
セラミック材料特論		1後		2			1						
塑性加工工学		1前		2		1							
金属材料強度学		1前		2			1						
ナノライポロジー		1前		2			1						
機械加工工学特論	1後		2			1							
マルチスケール材料応用力学	1前		2			1							
サステイナブルケミストリー科目群	サステイナブルケミストリー概論	1後		2		6							
	重合反応論	1前		2		1							
	界面コロイド化学	1後		2		1		1					
	高分子設計論	1前		2			1						
	応用分析化学	1後		2		1							
	有機化学特論	1前		2		1							
	高分子構造特論	1後		2			1						
	高分子分子論	1後		2			1						
	線形粘弾性解析論	1前		2			1		1				
	化学工学特論	1前		2			1						
	高分子反応工学	1後		2			1						

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目A群	科学英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼3	
	科学英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼2	
	科学英語表現Ⅰ	2前		1								兼1	
	科学英語表現Ⅱ	2後		1								兼3	
	科学英語特別講義	2前		2								兼2	
	共通科目B群	大学院海外短期インターンシップⅠ	1～2前後		1			1					
		大学院海外短期インターンシップⅡ	1～2前後		2			1					
		長期インターンシップ	1～2前後		4			1					
		PBLⅠ	1～2前後		2				1				
		PBLⅡ	1～2前後		4				1				
		生命複合科学特論Ⅰ	1前		2				1				兼14
		生命複合科学特論Ⅱ	1後		2				1				兼14
		工業日本語特論Ⅰ	1前		2								兼1
		工業日本語特論Ⅱ	1後		2								兼1
小計(14科目)			-	2	25	0	3	1	0	0	0	0	兼33
専攻共通科目	産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ	1前	4			17	20						
	産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ	1後	4			17	20						
	産業創成工学特別講義Ⅰ	1前		2		1							
	産業創成工学特別講義Ⅱ	1後		2		1							
	産業創成工学ゼミナールⅠ	1通		2		17	20						
	産業創成工学ゼミナールⅡ	2通		2		17	20						
小計(6科目)		-	8	8	0	17	20	0	0	0	0		
MOT科目群	MOT概論	1後		2		2						兼1	
	産業創成工学PBL	1前		2		1							
	経営学基礎	1前		2								兼1	
	技術経営のすすめ	1前		2								兼1	
	技術系のマネジメント基礎	1後		2								兼1	
	起業化経営論	1前		2		1							
	システム創造思考論	1前		2		1							
	異分野コミュニケーション	1後		2		1							
	材料・加工工学科目群	材料・加工工学概論	1前		2		4	7			1		
		繊維・高分子材料科学	1後		2		1						
繊維・高分子架橋体工学		1後		2						1			
繊維・高分子加工工学		1前		2		1							
繊維・高分子材料レオロジー特論		1後		2			1						
カラーレーション工学		1前		2			1						
無機材料化学特論		1後		2			1						
繊維産業工学		1前		2								兼3	
セラミック材料特論		1後		2			1						
塑性加工工学		1前		2		1							
金属材料強度学		1前		2			1						
ナノライポロジー		1前		2			1						
機械加工工学特論	1後		2			1							
マルチスケール材料応用力学	1前		2			1							
サステイナブルケミストリー科目群	サステイナブルケミストリー概論	1後		2		6							
	重合反応論	1前		2		1							
	界面コロイド化学	1後		2		1		1					
	高分子設計論	1前		2			1						
	応用分析化学	1後		2		1							
	有機化学特論	1前		2		1							
	高分子構造特論	1後		2			1						
	高分子分子論	1後		2			1						
	線形粘弾性解析論	1前		2			1		1				
	化学工学特論	1前		2			1						
	高分子反応工学	1後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目群	ライフサイエンス概論	1前	2			4	8					
	生物有機化学特論	1前	2				2					
	バイオ高分子化学特論	1前	2			1	1					
	分子構造・環境解析化学特論	1前	2				2					
	分子細胞生物学特論	1後	2				2					
	生命機能科学特論	1前	2				2					
	バイオマテリアル特論	1後	2				1					
	生物工学特論	1後	2			1	1					
	小計(41科目)	-	0	82	0	17	20	1	1	0	兼6	
	(研究指導)	-	-	-	-	17	20	0	0	0		
小計	-	-	-	-	17	20	0	0	0			
合計(61科目)	-	10	115	0	18	20	1	1	0	兼39		
修了要件及び履修方法												
<p>[修了要件]</p> <p>当該課程に2年以上在学し、次の条件を満たすように合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。</p> <p>1) 工学研究科共通科目 必修科目2単位：科学英語コミュニケーションⅠ、科学英語コミュニケーションⅡ</p> <p>2) 自専攻科目 イ 必修科目8単位：産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ、産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ ロ 選択科目14単位：4つの科目群からそれぞれ2単位、及び各コースが指定する2つの重点科目群から合わせて6単位の計14単位</p> <p>3) 1)及び2)で修得した単位以外に、工学研究科共通科目、自専攻科目、他専攻科目(必修以外)から6単位以上</p> <p>[履修方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各コースの学生は、自専攻の4つの科目群からそれぞれ1科目2単位を履修すること。 繊維先端工学コースの学生は、材料・加工工学科目群とライフサイエンス科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。 材料開発工学コースの学生は、サステイナブルケミストリー科目群と材料・加工工学科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。 生物応用化学コースの学生は、ライフサイエンス科目群とサステイナブルケミストリー科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。 創造生産工学コースの学生は、材料・加工工学科目群とMOT科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。 経営技術革新工学コースの学生は、MOT科目群とサステイナブルケミストリー科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。 												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目群	ライフサイエンス概論	1前	2			4	8					
	生物有機化学特論	1前	2				2					
	バイオ高分子化学特論	1前	2			1	1					
	分子構造・環境解析化学特論	1前	2				2					
	分子細胞生物学特論	1後	2				2					
	生命機能科学特論	1前	2				2					
	バイオマテリアル特論	1後	2				1					
	生物工学特論	1後	2			1	1					
	小計(41科目)	-	0	82	0	17	20	1	1	0	兼6	
	(研究指導)	-	-	-	-	17	20	0	0	0		
小計	-	-	-	-	17	20	0	0	0			
合計(61科目)	-	10	115	0	18	20	1	1	0	兼39		
修了要件及び履修方法												
<p>[修了要件]</p> <p>当該課程に2年以上在学し、次の条件を満たすように合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格しなければならない。</p> <p>1) 工学研究科共通科目 必修科目2単位：科学英語コミュニケーションⅠ、科学英語コミュニケーションⅡ</p> <p>2) 自専攻科目 イ 必修科目8単位：産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ、産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ ロ 選択科目14単位：4つの科目群からそれぞれ2単位、及び各コースが指定する2つの重点科目群から合わせて6単位の計14単位</p> <p>3) 1)及び2)で修得した単位以外に、工学研究科共通科目、自専攻科目、他専攻科目(必修以外)から6単位以上</p> <p>[履修方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各コースの学生は、自専攻の4つの科目群からそれぞれ1科目2単位を履修すること。 繊維先端工学コースの学生は、材料・加工工学科目群とライフサイエンス科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。 材料開発工学コースの学生は、サステイナブルケミストリー科目群と材料・加工工学科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。 生物応用化学コースの学生は、ライフサイエンス科目群とサステイナブルケミストリー科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。 創造生産工学コースの学生は、材料・加工工学科目群とMOT科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。 経営技術革新工学コースの学生は、MOT科目群とサステイナブルケミストリー科目群の2科目群から合わせて3科目6単位を履修すること。 												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	57 科目	0 科目	61 科目	4 科目 [0]	57 科目 [0]	0 科目 [0]	61 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{61} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	駐車場、緑地、道路等 の面積の見直し及び附 置研究所を校舎に変更 したため(2)					
	校舎敷地	267,793㎡ 267,651㎡	0㎡	0㎡	267,793㎡ 267,651㎡						
	運動場用地	94,273㎡	0㎡	0㎡	94,273㎡						
	小 計	362,066㎡ 361,924㎡	0㎡	0㎡	362,066㎡ 361,924㎡						
	そ の 他	180,918㎡ 181,060㎡	0㎡	0㎡	180,918㎡ 181,060㎡						
	合 計	542,984㎡	0㎡	0㎡	542,984㎡						
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	附置研究所を校舎に変 更したため(2)					
		145,453㎡ 138,456㎡ (145,453㎡) (-138,456㎡)	0㎡	0㎡	145,453㎡ 138,456㎡ (145,453㎡) (-138,456㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	72室 71室	演 習 室	99室	実験実習室	426室	情報処理学習施設	18室	語学学習施設	4室	大学全体 研究室、教員室を講義 室に改修したため (2)
							(補助職員 3人)		(補助職員 3人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	工学研究科 産業創成工学専攻			40 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本				
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				点	点	点	
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点					
	工学研究科 産業創成工学専攻	677,450 [203,350] (663,311 [201,333])	32,700 [19,450] (32,516 [19,308])	15,500 [14,000] (15,344 [14,032])	5,700 (5,436)	6,000 (5,893)	1 (1)	研究科単位での特定不 能なため、大学全体の 数			
計	677,450 [203,350] (663,311 [201,333])	32,700 [19,450] (32,516 [19,308])	15,500 [14,000] (15,344 [14,032])	5,700 (5,436)	6,000 (5,893)	1 (1)					
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	8,653㎡		827		788,333		大学全体				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	3,929㎡		屋外球技コート、プール、野球場				大学全体				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円			
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	福井大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
教育学部	4	100	-	400	学士(教育学)	1.02	1.00	-	-	-	
学校教育課程	4	100	-	400	学士(教育学)	1.02	1.00	-	平成20	福井県福井市文京3丁目9番1号	
教育地域科学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
学校教育課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成23	福井県福井市文京3丁目9番1号	平成28年より学生募集停止
地域科学課程	4	-	-	-	学士(地域科学)	-	-	-	平成23	同上	平成28年より学生募集停止
医学部		170	2年次 ⁵	925		1.01	1.01	-	-	-	
医学科	6	110	2年次 ⁵	685	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和55	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地	
看護学科	4	60	-	240	学士(看護学)	1.03	1.05	-	平成9	同上	
工学部	4	525	3年次 ⁴⁰	2180	学士(工学)	1.02	1.01	-	-	-	
機械・システム工学科	4	155	3年次 ¹⁰	640	学士(工学)	1.01	1.03	-	平成28	福井県福井市文京3丁目9番1号	
電気電子情報工学科	4	125	3年次 ²⁰	540	学士(工学)	1.01	1.00	-	平成28	同上	
建築・都市環境工学科	4	60	3年次 ¹⁰	260	学士(工学)	1.04	1.00	-	平成28	同上	
物質・生命化学科	4	135	-	540	学士(工学)	1.03	1.00	-	平成28	同上	
応用物理学科	4	50	-	200	学士(工学)	1.06	1.08	-	平成28	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年より学生募集停止
電気・電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年より学生募集停止
情報・メディア工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年より学生募集停止
建築建設工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年より学生募集停止
材料開発工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年より学生募集停止
生物応用化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年より学生募集停止
物理工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年より学生募集停止
知能システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成11	同上	平成28年より学生募集停止
国際地域学部	4	60	-	240	学士(国際地域)	1.03	1.00	-	平成28	-	
国際地域学科	4	60	-	240	学士(国際地域)	1.03	1.00	-	平成28	福井県福井市文京3丁目9番1号	
大学全体	-	855	45	3745	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	福井大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
教育学研究科											
学校教育専攻(修士課程)	2	-	-	-	修士(教育学)	-	-	-	平成20	福井県福井市文京3丁目9番1号	令和2年より学生募集停止
福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科											
教職開発専攻(専門職学位課程)	2	60	-	100	教職修士(専門職)	0.93	1.10	-	平成30	福井県福井市文京3丁目9番1号	令和2年度入学定員増(20人)

医学系研究科											
看護学専攻 (修士課程)	2	12	-	24	修士 (看護学)	0.91	0.75	-	平成13	福井県吉田郡永平寺町 松岡下合月23号3番地	
統合先進医学専攻 (博士課程)	4	25	-	100	博士 (医学)	0.89	0.56	-	平成25	同上	
先端応用医学専攻 (博士課程)	4	-	-	-	博士 (医学)	-	-	-	平成20	同上	平成25年より学生 募集停止
工学研究科											
産業創成工学専攻 (博士前期課程)	2	85	-	85	修士 (工学)	1.05	1.05	-	令和2	福井県福井市文京 3丁目9番1号	
安全社会基盤工学 専攻 (博士前期課程)	2	84	-	84	修士 (工学)	1.07	1.07	-	令和2	同上	
知識社会基礎工学 専攻 (博士前期課程)	2	84	-	84	修士 (工学)	1.11	1.11	-	令和2	同上	
機械工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年より学生 募集停止
電気・電子工学 専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年より学生 募集停止
情報・メディア工学 専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年より学生 募集停止
建築建設工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年より学生 募集停止
材料開発工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年より学生 募集停止
生物応用化学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年より学生 募集停止
物理学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年より学生 募集停止
知能システム工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年より学生 募集停止
繊維先端工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成25	同上	令和2年より学生 募集停止
原子力・核燃料 安全工学専攻 (博士前期課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	-	平成16	同上	令和2年より学生 募集停止
総合創成工学専攻 (博士後期課程)	3	22	-	66	博士 (工学)	0.78	0.50	-	平成25	同上	
国際地域マネジメント研究科											
国際地域 マネジメント専攻 (専門職学位課程)	2	7	-	7	国際地域 マネジメント修士 (専門職)	1.14	1.14	-	令和2	福井県福井市文京 3丁目9番1号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 産業創成工学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	内村 智博 <令和2年4月> 博士(工学)	専	教授	内村 智博 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ サステイナブル ケミストリー概論 ※ 応用分析化学(研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ サステイナブル ケミストリー概論 ※ 応用分析化学(研究指導)
専	教授	佐々木 隆 <令和2年4月> 工学博士	専	教授	佐々木 隆 <令和2年4月> 工学博士
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ サステイナブル ケミストリー概論 ※ 高分子分子論(研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ サステイナブル ケミストリー概論 ※ 高分子分子論(研究指導)
専	教授	徳永 雄次 <令和2年4月> 博士(薬学)	専	教授	徳永 雄次 <令和2年4月> 博士(薬学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ サステイナブル ケミストリー概論 ※ 有機化学特論(研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ サステイナブル ケミストリー概論 ※ 有機化学特論(研究指導)
専	教授	飛田 英孝 <令和2年4月> Ph. D. (加国)	専	教授	飛田 英孝 <令和2年4月> Ph. D. (加国)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ サステイナブル ケミストリー概論 ※ 高分子反応工学(研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ サステイナブル ケミストリー概論 ※ 高分子反応工学(研究指導)
専	教授	橋本 保 <令和2年4月> 工学博士	専	教授	橋本 保 <令和2年4月> 工学博士
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ サステイナブル ケミストリー概論 ※ 重合反応論(研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ サステイナブル ケミストリー概論 ※ 重合反応論(研究指導)
専	教授	沖 昌也 <令和2年4月> 博士(理学)	専	教授	沖 昌也 <令和2年4月> 博士(理学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 分子細胞生物学特論 ※ 長期インターンシップ(研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 分子細胞生物学特論 ※ 長期インターンシップ(研究指導)
専	教授	櫻井 明彦 <令和2年4月> 博士(工学)	専	教授	櫻井 明彦 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 生物工学特論 ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 生物工学特論 ※ (研究指導)
専	教授	前田 寧 <令和2年4月> 博士(工学)	専	教授	前田 寧 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ バイオ高分子化学特論 ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ バイオ高分子化学特論 ※ (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	小西 慶幸 <令和2年4月> 博士(理学)	専	教授	小西 慶幸 <令和2年4月> 博士(理学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 分子細胞生物学特論 ※ 生命複合科学特論Ⅱ ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 分子細胞生物学特論 ※ 生命複合科学特論Ⅱ ※ (研究指導)
専	教授	田上 秀一 <令和2年4月> 博士(工学)	専	教授	田上 秀一 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 繊維・高分子加工工学 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 繊維・高分子加工工学 (研究指導)
専	教授	中根 幸治 <令和2年4月> 博士(工学)	専	教授	中根 幸治 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 繊維・高分子材料科学 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 繊維・高分子材料科学 (研究指導)
専	教授	久田 研次 <令和2年4月> 博士(工学)	専	教授	久田 研次 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 界面コロイド化学 ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 界面コロイド化学 ※ (研究指導)
専	教授	大津 雅亮 <令和2年4月> 博士(工学)	専	教授	大津 雅亮 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 塑性加工学 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 塑性加工学 (研究指導)
専	教授	本田 知己 <令和2年4月> 博士(工学)	専	教授	本田 知己 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ ナノトライボロジー (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ ナノトライボロジー (研究指導)
専	教授	葛生 伸 <令和2年4月> 理学博士	専	教授	葛生 伸 <令和2年4月> 理学博士
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ システム創造思考法 異分野コミュニケーション (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ システム創造思考法 異分野コミュニケーション (研究指導)
専	教授	米沢 晋 <令和2年4月> 博士(工学)	専	教授	米沢 晋 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 産業創成工学特別講義Ⅰ 産業創成工学特別講義Ⅱ MOI概論 ※ 産業創成工学PBL サステイナブル・ケミストリー 概論 ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 産業創成工学特別講義Ⅰ 産業創成工学特別講義Ⅱ MOI概論 ※ 産業創成工学PBL サステイナブル・ケミストリー 概論 ※ (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	竹本 拓治 <令和2年4月> 博士(政策科学)	専	教授	竹本 拓治 <令和2年4月> 博士(政策科学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ MOT概論 ※ 起業化経営論 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ MOT概論 ※ 起業化経営論 (研究指導)
専	教授	高木 丈夫 <令和2年4月> 理学博士	専	教授	高木 丈夫 <令和2年4月> 理学博士
		大学院海外短期インターンシップⅠ 大学院海外短期インターンシップⅡ			大学院海外短期インターンシップⅠ 大学院海外短期インターンシップⅡ
専	准教授	入江 聡 <令和2年4月> 博士(理学)	専	准教授	入江 聡 <令和2年4月> 博士(理学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 高分子構造特論 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 高分子構造特論 (研究指導)
専	准教授	岡田 敬志 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	岡田 敬志 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ セラミックス材料特論 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ セラミックス材料特論 (研究指導)
専	准教授	金 在虎 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	金 在虎 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 無機材料化学特論 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 無機材料化学特論 (研究指導)
専	准教授	阪口 壽一 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	阪口 壽一 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 高分子設計論 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 高分子設計論 (研究指導)
専	准教授	鈴木 清 <令和2年4月> 博士(材料科学)	専	准教授	鈴木 清 <令和2年4月> 博士(材料科学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 化学工学特論 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 化学工学特論 (研究指導)
専	准教授	田中 穰 <令和2年4月> 博士(理学)	専	准教授	田中 穰 <令和2年4月> 博士(理学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 線形粘弾性解析論 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 線形粘弾性解析論 (研究指導)
専	准教授	里村 武範 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	里村 武範 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 生命機能科学特論 ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 生命機能科学特論 ※ (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	杉原 伸治 <令和2年4月> 博士(理学)	専	准教授	杉原 伸治 <令和2年4月> 博士(理学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ バイオ高分子化学特論 ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ バイオ高分子化学特論 ※ (研究指導)
専	准教授	高橋 一朗 <令和2年4月> 薬学博士	専	准教授	高橋 一朗 <令和2年4月> 薬学博士
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 生物有機化学特論 ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 生物有機化学特論 ※ (研究指導)
専	准教授	高橋 透 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	高橋 透 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 分子構造・環境解析化学特論 ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 分子構造・環境解析化学特論 ※ (研究指導)
専	准教授	寺田 聡 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	寺田 聡 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 生物工学特論 ※ 生命複合科学特論Ⅰ ※ PBLⅠ PBLⅡ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 生物工学特論 ※ 生命複合科学特論Ⅰ ※ PBLⅠ PBLⅡ (研究指導)
専	准教授	吉見 泰治 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	吉見 泰治 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 生物有機化学特論 ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 生物有機化学特論 ※ (研究指導)
専	准教授	鈴木(岡村) 悠 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	鈴木(岡村) 悠 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 分子構造・環境解析化学特論 ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ 分子構造・環境解析化学特論 ※ (研究指導)
専	准教授	植松 英之 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	植松 英之 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 繊維・高分子材料レオロジー特論 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 繊維・高分子材料レオロジー特論 (研究指導)
専	准教授	坂元 博昭 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	坂元 博昭 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 生命機能科学特論 ※ (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 生命機能科学特論 ※ (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	廣垣 和正 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	廣垣 和正 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ カラーレーション工学 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ カラーレーション工学 (研究指導)
専	准教授	藤田 聡 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	藤田 聡 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ バイオマテリアル特論 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ ライフサイエンス概論 ※ バイオマテリアル特論 (研究指導)
専	准教授	岡田 将人 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	岡田 将人 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 機械加工学特論 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 機械加工学特論 (研究指導)
専	准教授	旭吉 雅健 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	旭吉 雅健 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 金属材料強度学 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ 金属材料強度学 (研究指導)
専	准教授	雷 霄雯 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	雷 霄雯 <令和2年4月> 博士(工学)
		産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ マルチスケール材料応用力学 (研究指導)			産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ 産業創成工学特別演習及び実験Ⅱ 産業創成工学ゼミナールⅠ 産業創成工学ゼミナールⅡ 材料・加工工学概論 ※ マルチスケール材料応用力学 (研究指導)
専	講師	平田 豊章 <令和2年4月> 博士(工学)	専	講師	平田 豊章 <令和2年4月> 博士(工学)
		界面コロイド化学 ※			界面コロイド化学 ※
専	助教	浅井(井深) 華子 <令和2年4月> 博士(科学)	専	助教	浅井(井深) 華子 <令和2年4月> 博士(科学)
		材料・加工工学概論 ※ 繊維・高分子架橋体工学			材料・加工工学概論 ※ 繊維・高分子架橋体工学
兼任	教授	虎尾 憲史 <令和2年4月> 修士(国際学)	兼任	教授	虎尾 憲史 <令和2年4月> 修士(国際学)
		工業日本語特論Ⅰ 工業日本語特論Ⅱ			工業日本語特論Ⅰ 工業日本語特論Ⅱ
兼任	教授	松岡 達 <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	松岡 達 <令和2年4月> 医学博士
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	教授	藤井 豊 <令和2年4月> 薬学博士	兼任	教授	藤井 豊 <令和2年4月> 薬学博士
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	教授	菅井 学 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	菅井 学 <令和2年4月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	松本 英樹 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	松本 英樹 <令和2年4月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	教授	安倍 博 <令和2年4月> 医学博士	兼任	教授	安倍 博 <令和2年4月> 医学博士
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	教授	石塚 全 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	石塚 全 <令和2年4月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	教授	青木 耕史 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	青木 耕史 <令和2年4月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	教授	山田 雅己 <令和2年10月> 博士(医学)	兼任	教授	山田 雅己 <令和2年10月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	教授	大嶋 勇成 <令和2年10月> 博士(医学)	兼任	教授	大嶋 勇成 <令和2年10月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	教授	深澤 有吾 <令和2年10月> 博士(理学)	兼任	教授	深澤 有吾 <令和2年10月> 博士(理学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	教授	松崎 秀夫 <令和2年10月> 博士(医学)	兼任	教授	松崎 秀夫 <令和2年10月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
			兼任	教授	小林 基弘 <令和2年10月> 博士(医学)
					生命複合科学特論Ⅱ ※
			兼任	教授	菊田 健一郎 <令和2年10月> 博士(医学)
					生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	准教授	牧野 颯 <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	牧野 颯 <令和2年4月> 博士(工学)
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	准教授	西住 裕文 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	西住 裕文 <令和2年4月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	准教授	千原 一泰 <令和2年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	千原 一泰 <令和2年4月> 博士(理学)
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	准教授	法木 左近 <令和2年4月> 医学博士			
		生命複合科学特論Ⅰ ※			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	西沢 徹 <令和2年4月> 博士(理学)	兼任	教授	西沢 徹 <令和2年4月> 博士(理学)
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	准教授	徳永 暁憲 <令和2年10月> 博士(医学)	兼任	准教授	徳永 暁憲 <令和2年10月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	准教授	北井 隆平 <令和2年10月> 博士(医学)			
		生命複合科学特論Ⅱ ※			
兼任	准教授	成田 憲彦 <令和2年10月> 博士(医学)	兼任	准教授	成田 憲彦 <令和2年10月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	准教授	小久保 安朗 <令和2年10月> 博士(医学)	兼任	准教授	小久保 安朗 <令和2年10月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	講師	折坂 誠 <令和2年10月> 博士(医学)	兼任	講師	折坂 誠 <令和2年10月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	助教	竹内 健司 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	助教	竹内 健司 <令和2年4月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	助教	本田 信治 <令和2年10月> 博士(理学)	兼任	助教	本田 信治 <令和2年4月> 博士(理学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※
兼任	助教	辻 隆宏 <令和2年10月> 博士(医学)	兼任	助教	辻 隆宏 <令和2年10月> 博士(医学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	特命助教	島田 浩二 <令和2年10月> 博士(理学)	兼任	助教	島田 浩二 <令和2年10月> 博士(理学)
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	特命助教	山口 朋子 <令和2年10月> 博士(医学)			
		生命複合科学特論Ⅱ ※			
			兼任	助教	坪川 謙 <令和2年10月> 博士(医学)
					生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	講師	片山 寛次 <令和2年10月> 医学博士	兼任	講師	片山 寛次 <令和2年10月> 医学博士
		生命複合科学特論Ⅱ ※			生命複合科学特論Ⅱ ※
兼任	講師	老木 成稔 <令和2年4月> 医学博士	兼任	講師	老木 成稔 <令和2年4月> 医学博士
		生命複合科学特論Ⅰ ※			生命複合科学特論Ⅰ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	菅野 雅代 <令和2年4月> Master of Arts (Major: TESOL) (英国)	兼任	講師	菅野 雅代 <令和2年4月> Master of Arts (Major: TESOL) (英国)
		科学英語表現Ⅰ 科学英語表現Ⅱ 科学英語特別講義			科学英語表現Ⅰ 科学英語表現Ⅱ 科学英語特別講義
兼任	講師	Butler-Tanaka, Paul <令和2年4月> Master of Arts (Major: T. E. F. L) (米国)	兼任	講師	Butler-Tanaka, Paul <令和2年4月> Master of Arts (Major: T. E. F. L) (米国)
		科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語コミュニケーションⅡ 科学英語表現Ⅱ			科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語コミュニケーションⅡ 科学英語表現Ⅱ
兼任	講師	James Wesley Gray <令和2年4月> 博士(応用言語学)	兼任	講師	James Wesley Gray <令和2年4月> 博士(応用言語学)
		科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語コミュニケーションⅡ 科学英語特別講義			科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語コミュニケーションⅡ 科学英語特別講義
兼任	講師	Mihalache Iulia Corina <令和2年4月> 学士(生物物理)	兼任	講師	Mihalache Iulia Corina <令和2年4月> 学士(生物物理)
		科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語表現Ⅱ			科学英語コミュニケーションⅠ 科学英語表現Ⅱ
兼任	講師	南保 勝 <令和2年4月> 経済学博士	兼任	講師	南保 勝 <令和2年4月> 経済学博士
		経営学基礎			経営学基礎
兼任	講師	澤崎 敏文 <令和2年4月> Master of Business Administration (米国)	兼任	講師	澤崎 敏文 <令和2年4月> Master of Business Administration (米国)
		技術経営のすすめ			技術経営のすすめ
兼任	講師	井上 利弘 <令和2年10月> 博士(工学)	兼任	講師	井上 利弘 <令和2年10月> 博士(工学)
		MOT概論 ※ 技術系のマネジメント基礎			MOT概論 ※ 技術系のマネジメント基礎
兼任	講師	松田 光夫 <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	講師	松田 光夫 <令和2年4月> 博士(工学)
		繊維産業工学 ※			繊維産業工学 ※
兼任	講師	水藪 満 <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	講師	水藪 満 <令和2年4月> 博士(工学)
		繊維産業工学 ※			繊維産業工学 ※
兼任	講師	馬場 俊之 <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	講師	馬場 俊之 <令和2年4月> 博士(工学)
		繊維産業工学 ※			繊維産業工学 ※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・担当教員昇格のため、西沢徹准教授が教授に変更。
- ・教員の退職により兼任教員の授業担当構成を変更。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
13	9	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
18	20	1	1	40	0	18	20	1	1	40	0
(18)	(20)	(1)	(1)	(40)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
38	2	0				38	2	0			
(38)	(2)	0									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
18	20	1	1	40	0	18	20	1	1	40	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
38	2	0				38	2	0			
[0]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{40}{40} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{40} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0 科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0 科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">該当なし</div>		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 産業創成工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div data-bbox="683 468 916 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">該当なし</div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

【全学】福井大学高等教育推進センター FD・教育企画部門会議

【工学部】福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

【全学】福井大学高等教育推進センター FD・教育企画部門会議

令和元年度1回開催

委員構成：各学部委員，事務職員を含め9名

【工学部】福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

令和元年度2回開催

委員構成：工学研究科長が指名した教員及び工学研究科博士前期課程各専攻より選出された委員 計9名

c 委員会の審議事項等

●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議

- 1) カリキュラムの調査・分析・検討，
- 2) 授業内容・方法の改善及び教材開発，
- 3) GP等の教育プロジェクト
- 4) e-learning・ICT利用教育及び双方向遠隔授業，
- 5) 教育に係る地域連携及び国際連携
- 6) 教育に係る評価及び教育評価法の開発，
- 7) その他センターが必要と認めた事項

●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

- 1) FDの企画及び実施に関する事，
- 2) アクティブ・ラーニングに関する事，
- 3) カリキュラム評価アンケートに関する事，
- 4) GPAデータのFDへの活用に関する事，
- 5) その他FDに関する事

② 実施状況

a 実施内容

●福井大学高等教育推進センターFD・教育企画部門会議

（福井大学FD・SDシンポジウムについて、令和2年3月5日開催予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

- ・アクティブ・ラーニング通信（教員のALに関する取り組みを紹介するメルマガ。令和元年度は18回発行）
- ・FDランチタイムしゃべり場（教員間の意見交換会。令和元年度は2回開催）
- ・FD研修会（令和元年度は3回開催）

b 実施方法

●福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会

- ・アクティブ・ラーニング通信は、各専攻の委員より寄稿を依頼し、委員長が取りまとめ、イントロ文を付けて毎週配信した。
- ・FDランチタイム・しゃべり場は、各専攻委員もしくは委員長より参加を依頼した教員、工学部執行部及び委員長が参加して、昼休みに弁当を食べながら実施した。
- ・FD研修会は、学生総合相談室と情報交換してタイムリーなトピックについて、教授会開催前の時間を利用して実施した。また、3回目は、全国的にも貴重な存在である理系のレポート指導を専門とする講師を招き、設計法と評価法について講演会を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD研修会「STOP!! キャンパスハラスメント」（令和元年6月7日）参加人数：106名
- ・FD研修会「工学部学生を対象としたレポート課題の設計と評価」（令和元年12月6日）参加人数：110名
- ・FD研修会「アンガーマネジメント講座パート1：知って得する!!『怒り』のコントロール3つの方法」（令和2年1月10日）参加人数：131名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・実施結果を踏まえて、令和2年度度以降の授業改善等に役立てていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・福井大学の教育・研究に対する意識・満足度調査（令和2年度後期に実施予定）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生の在学中及び卒業・修了にあたり、本学の教育・研究に対してどのような意識や満足感を持っているかを把握するアンケート（今後の必要な教育・研究環境等の整備・充実に役立てるため集計し教員等にフィードバックしている）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和2年度に改組し、順調に進んでいる。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和4年3月公表予定

b 公表方法

・ 自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・ 令和4年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

福井大学高等教育推進センター規程

平成21年9月15日

福大規程第 45 号

(設置)

第1条 福井大学学則（平成16年福大学則第1号）第8条第2項の規定に基づき、福井大学（以下「本学」という。）に、福井大学高等教育推進センター（以下「センター」という。）を置く。

(目的)

第2条 センターは、本学の教育理念と目標を達成するために、学部、大学院及び関連する各学内共同教育研究施設等と連携協力し、具体的な施策を企画・実施するとともに、中長期的な課題について提言し、教育及び修学支援の充実を図ることを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 削除
- (2) 教育内容・方法の充実及び教育の評価に関すること。
- (3) 学生の修学支援の充実に関すること。
- (4) その他センターの目的を達成するために必要な業務に関すること。

(職員)

第4条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 副センター長
- (3) 専任教員
- (4) 兼任の教員及び事務職員
- (5) その他必要な職員

2 センター長は、学長が指名する本学の副学長をもって充てる。

3 副センター長及び専任教員の選考に関する必要な事項は、別に定める。

4 兼任の教員は、所属する部局の長の推薦に基づき、学長が任命する。

5 兼任の教員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

6 兼任の事務職員に関する必要な事項は、別に定める。

(職務)

第5条 センター長は、センターの管理運営をつかさどり、所属職員を監督する。

2 副センター長は、センター長の業務を補佐し、センター長に事故があるときは、その職務を代行する。

3 専任教員、兼任の教員及び事務職員は、センターの業務を処理する。

4 その他の職員は、センターの業務に従事する。

(客員教授等)

第6条 センターに、客員教授又は客員准教授（以下「客員教授等」という。）を置くことができる。

2 客員教授等の任期は、1年以内とし、再任を妨げない。

3 客員教授等の選考は、国立大学法人福井大学客員教授等称号付与規程（平成21年福大規程第1号）の定めるところによる。

(部門)

第7条 センターに、次の各号に掲げる部門を置く。

(1) 削除

(2) F D・教育企画部門

(3) 学生支援部門

(4) C O C 教育部門

2 部門に関する必要な事項は、別に定める。

(運営委員会)

第8条 センターの円滑な運営を図るため、福井大学高等教育推進センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会に関する必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第9条 センターの庶務は、学務部教務課において処理する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規程は、平成21年9月15日から施行する。

2 この規程の施行後、最初に任命される第4条第1項第4号に掲げる兼任の教員の任期は、第4条第5項の規定にかかわらず、平成22年3月31日までとする。

3 学長は、センターの年度ごとの業務の達成状況について評価を行うとともに、設置後3年以内に、センターの設置目的に照らした業務の達成状況について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

附 則（平成22年4月23日福大規程第46号）

この規程は、平成22年4月23日から施行し、改正後の規定は、平成22年4月1日から適用する。

附 則（平成25年11月13日福大規程第57号）

1 この規程は、平成25年11月13日から施行する。

2 この規程の施行後、最初に任命される第4条第1項第4号に掲げる兼任の教員の任期は、第4条第5項の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則（平成28年3月11日福大規程第37号）

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成 29 年 9 月 20 日福大規程第 113 号）
この規程は，平成 29 年 10 月 1 日から施行する。

附 則（平成 31 年 3 月 30 日福大規程第 33 号）
この規程は，平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

福井大学高等教育推進センターの部門に関する要項

平成 21 年 9 月 15 日
学 長 裁 定

(目的)

第 1 条 この要項は、福井大学高等教育推進センター規程（平成 21 年福大規程第 45 号）第 7 条第 2 項の規定に基づき、福井大学高等教育推進センター（以下「センター」という。）の各部門について、必要な事項を定めるとともに、同第 4 条第 6 項の規定に基づく兼任の事務職員について、必要な事項を定める。

第 2 条 削除

(FD・教育企画部門)

第 3 条 FD・教育企画部門においては、教育内容・方法の充実及び教育評価に係る課題に取り組み、次の各号について、全学的な方策等の企画立案・提言を行い、又は実施する。

- (1) カリキュラムの調査・分析・検討
- (2) 授業内容・方法の改善及び教材開発
- (3) GP等の教育プロジェクト
- (4) e-Learning・ICT利用教育及び双方向遠隔授業
- (5) 教育に係る地域連携及び国際連携
- (6) 教育に係る評価及び教育評価法の開発
- (7) その他センターが必要と認めた事項

(学生支援部門)

第 4 条 学生支援部門においては、学生支援の在り方について総合的に検討し、次の各号について、全学的な方策等の企画立案・提言を行う。

- (1) 修学支援
- (2) 心身の健康の保持増進支援
- (3) 就職支援及びキャリア教育
- (4) 留学生支援
- (5) 修学環境の改善
- (6) その他センターが必要と認めた事項

(COC教育部門)

第 5 条 COC教育部門においては、文部科学省「地（知）の拠点整備事業」プログラム（以下「COC事業」という。）の推進も含め、地域志向の教育活動の推進について検討し、次の各号について、全学的な方策等の企画立案・提言を行う。

- (1) 地域を志向した人材育成及び地域の課題解決の視点を踏まえたカリキュラム
- (2) その他センターが必要と認めた事項

(各部門の構成)

第 6 条 次の各号に掲げる部門に、それぞれ必要な教員及び兼任の事務職員を置く。

(1) 削除

(2) FD・教育企画部門

- イ センターの専任教員
- ロ 各学部（研究科）教員 各1名（ハ又はニの委員の兼務可）
- ハ 文京地区共通教育委員会委員 1名
- ニ 松岡地区共通教育委員会委員 1名
- ホ 学務部教務課長
- ヘ 学務部松岡キャンパス学務課長
- ト その他センター長が必要と認めた者

(3) 学生支援部門

- イ 各学部（研究科）教員 各1名
- ロ 国際センター教員 1名
- ハ 保健管理センター教員 1名
- ニ 総合戦略部門情報企画課長
- ホ 学務部教務課長
- ヘ 学務部学生サービス課長
- ト 学務部国際課長
- チ 学務部キャリア支援課長
- リ 学務部松岡キャンパス学務課長

(4) COC教育部門

- イ 各学部（研究科）地域志向教育研究推進のコア教員 若干名
- ロ 学務部教務課長
- ハ 学務部松岡キャンパス学務課長
- ニ その他センター長が必要と認めた者

2 各部門に、当該部門の業務を管理する部門長を置く。

3 部門長は、部門員の中からセンター長が指名する。

（庶務）

第7条 部門の庶務は、FD・教育企画部門及びCOC教育部門にあつては学務部教務課，学生支援部門にあつては学務部学生サービス課において処理する。

附 則

この要項は，平成21年9月15日から施行する。

附 則（平成22年4月23日改正）

この要項は，平成22年4月23日から施行し，改正後の規定は，平成22年4月1日から適用する。

附 則（平成23年2月23日改正）

この要項は，平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成25年2月20日改正）

この要項は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 6 月 28 日改正）

この要項は、平成 25 年 7 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 11 月 13 日改正）

この要項は、平成 25 年 11 月 13 日から施行する。

附 則（平成 28 年 3 月 11 日 改正）

この要項は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 31 年 3 月 30 日改正）

この要項は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会要項

平成16年4月1日

工学研究科長裁定

(設置)

第1条 福井大学工学部及び大学院工学研究科に、福井大学工学部及び大学院工学研究科FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、工学部及び工学研究科の教育の理念、目的、目標を教員に周知するとともに、それらを達成するための教育方法の研究・改善と、教員の教育に対する資質の向上に努める。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 工学研究科長が指名した教員 1名
- (2) 博士前期課程各コースから選出された教員 10名
ただし、各コースから選出できる教員数は1名以内とする。
- (3) その他工学研究科長が必要と認めた者 若干名

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、第3条第1号の委員をもって充てる。

2 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第6条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 学務担当副研究科長は、必要に応じて委員会に出席することができる。

3 委員長は、必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(専門部会)

第7条 委員会に必要に応じて専門部会を置くことができる。

2 専門部会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、学務部教務課において処理する。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

1 この要項は、平成16年4月1日から施行する。

2 この要項の施行後、最初に選出される委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成17年4月30日までとする。

附 則

1 この要項は、平成16年7月16日から施行する。

2 この要項の施行後、最初に選出される第3条第1号及び第3号の委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成17年4月30日までとする。

附 則

この要項は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年7月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、令和2年4月1日から施行する。